

歌集

全国短歌大会入選一覽(報告)

日輪

金子公宥

## 謝辞

本歌集の詠者(金子)は、NHK学園短歌入門講座と岸和田市公民館短歌教室の師範・鈴木きぬ子先生に短歌の手ほどきを受けた。

この度の歌集「日輪」は、これまでの歌集に引きつづき藤田英和氏(みんなのスポーツ協会・最高顧問)に企画・編集して頂いた。記して各位のご厚意に深謝の意を表します。

金子公宥

## はじめに

このたび私たち NPO 法人顧問の金子公有先生が「八十五歳を機に歌集に一区切りつけたい」との意向を示されました。そこで本法人では、前回の瑞宝中綬賞の叙勲を記念した「盆栽」までの歌を再録するかたちで、新たに詠まれた短歌を「日輪」と題して上梓することと致しました。

先生はご自身の短歌が「独りよがりになるのを避けたい」と、全国短歌コンクールに投稿して作品の評価をその審査に委ねて来られました。本歌集はその入選(総数139首)の入賞報告をも兼ねております。

先生の短歌は「分かりやすく面白い」との定評があります。  
ご高覧頂けたら幸いです。

令和五年十月吉日

特定非営利法人 みんなのスポーツ協会

藤田英和



CC BY-NC

日 論 目 次

はじめに	1
第一部 郵便ポスト	
さあ歩こう	7
無人バス	9
ベネチア	11
最後の晚餐	13
闇夜にひかる	15
第二部 ねこの昼寝	
汗吹く若衆	17
ミモザの香	18
お節のごまめ	19
日溜まり	20
第三部 人口頭脳 (A I)	
テトラポッド	22
時計の針	24
お腹が空いた	26
番犬	27
第四部 盆栽	
空を測る	30
浄蓮の滝	32
火の鳥	33
生駒の嶺	34
宇宙の謎	35
透明のアクセル	36
種まく農夫	38
ヘッドライト	40
第五部 自選短歌	
若き日	43
世界をかける	45
風景・映像	47
老いる	49
おわりに	52

第一部

郵便ポスト



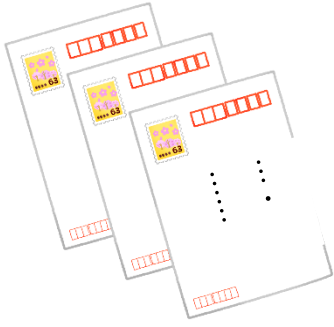
秀逸

選者

永田和宏 令和4年度・角川全国大会

誰か来てハガキか手紙入れてくれ

退屈している私はポスト



表彰状

金子 公宥殿

自由題 永田和宏選 秀逸

誰か来て手紙かハガキ入れてくれ

退屈している私はポスト

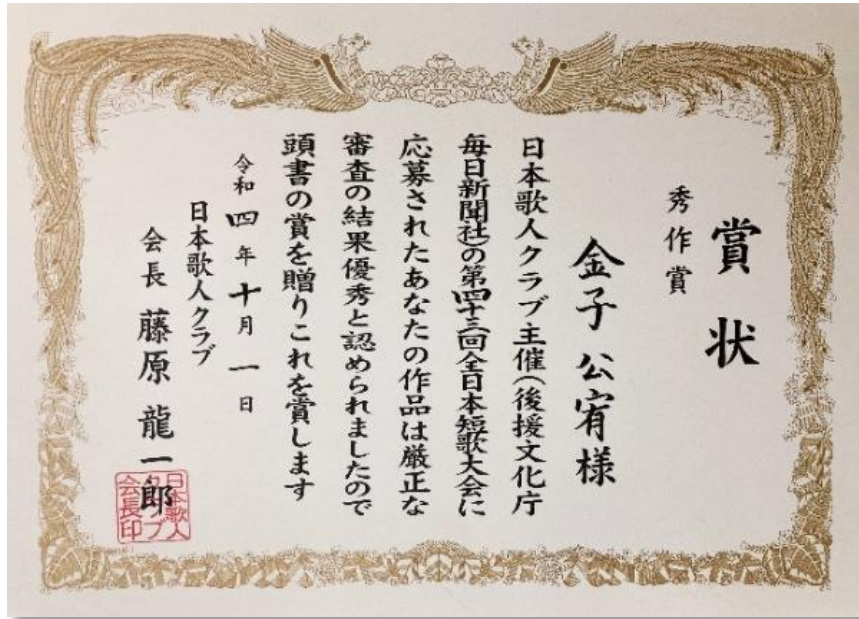
第十三回角川全国短歌大賞に  
応募された右のあなたの作品は厳  
正なる審査の結果頭書の賞に決  
定いたしました

ここにその栄誉を讃え賞状を贈呈  
いたします

令和四年七月七日

角川全国短歌大賞審査委





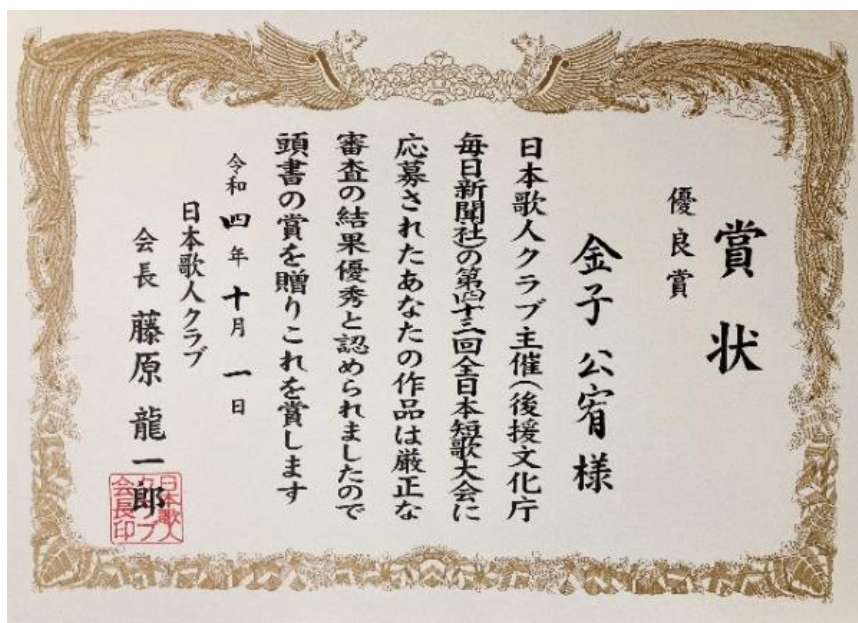
秀作賞

日本歌人クラブ全国大会

縁日の祭りに集う人々の

マスクが吸い込むイカ焼きの匂い



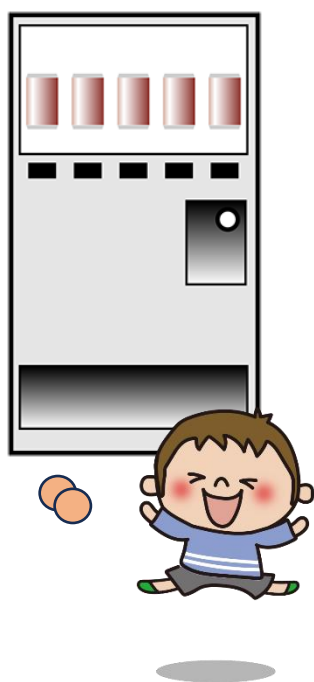


優良賞

日本歌人クラブ全国大会

自販機の釣り銭こぼす老いしわれ

駆けより拾う子の愛らしさ



自動車の急ブレーキを聞くような

春一番に帽子がぶっ飛ぶ

佳作 藤島秀憲 令和3年3月・NHK伊香保大会

欧州が真ん中にある地図見れば

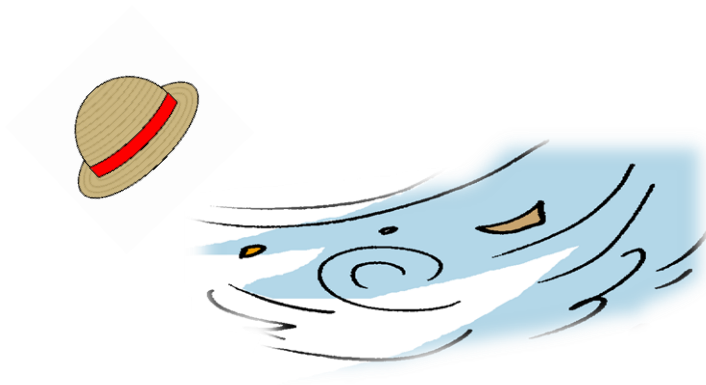
日本は「極東」パンくずのごと

佳作 藤原龍一郎 令和3年3月・NHK伊香保大会

軍服の若き乙女が銃をもち

バスに乗りくるイスラエルでは

佳作 藤原龍一郎 令和3年3月・NHK伊香保大会





さあ歩こう

たこ焼をころころ回すオジサンの

手元に踊る千枚通し

佳作 今井千草 令和3年8月・NHK夏の大会

補聴器を外してみれば一瞬に

静けき森の奥に入りたり

佳作 今井千草・大熊俊夫 令和3年8月・NHK夏の大会

歩くとは少し止まると書くのだと

言われて納得さあ歩こうか

佳作 高山邦男・大熊俊夫・桜井京子 令和3年8月・NHK夏の大会



歩  
歩  
歩

写真見て頭のとっぺん薄い人

それが君だと言われて驚く

佳作 高山邦男 令和3年8月・NHK夏の大会

葉かげなる寒椿の花ひとすじの

日差しに真紅の色あたらしき

佳作 桜井京子 令和3年8月・NHK夏の大会

キッチンへ何しに来たのと問われても

思い出せないハナイチモンメ

佳作 桜井京子 令和3年8月・NHK夏の大会



## 無人バス

戦死せる父の墓には母と兄

墓参に行きたしコロナがなくなれば

佳作 今野寿美 令和3年11月・NHK秋の大会

海中のウニによく似たアメリカカフウの

棘とげのある実が足もと埋める

佳作 内藤 明 令和3年11月・NHK秋の大会

ベランダの選択ばさみに吊るされた

白きマスクが空気吸ってる

佳作 東直子 令和3年10月・現代歌人協会全国大会



「モミジバフウ(紅葉葉楓)」とも呼ばれるフウ科フウ属の落葉樹で、「輝く心」、「非凡な才能」という花言葉もある。

パソコンに毒されているわが指の

手書きの文字が滑って転ぶ

佳作 笹公人 令和3年12月・NHK冬の大会

運転手不要となりし無人バス

やがては街を不気味に走る

佳作 原紫苑 令和3年12月・NHK冬の大会

筋肉は引っ張られるから伸びるのさ

自分だけでは伸びられぬから

入選 令和4年3月・NHK全国大会



© dak

## ベネチアの道

うつそうと茂りしカシの剪定に

広がる青空冬の公園

入選 令和4年3月・NHK全国大会

満潮でベネチアの道は海の中

ゴンドラで行くビルの谷間を

入選 令和4年3月・NHK全国大会

田植期の馬のからだは泥だらけ

小川に連れ行き洗いし夕べ

入選 令和4年3月・NHK全国大会



CC BY

孫娘タップダンスを始めたよ

カタコト鳴らす電話の向こう

入選 令和4年2月・河野裕子賞全国大会

幼子のわれを見つめる視線あり

目と目が合えば恥ずかしげに笑み

入選 令和4年2月・河野裕子賞全国大会

潮の香の濃くなる夜の岸壁に

夜釣りする人微動だにせず

入選 令和4年6月・角川全国大会



©2013 Peanuts Worldwide

CC BY-NC-ND

## 最後の晚餐

居眠りも欠伸も生きの証なり

自然体にて老後を生きる

入選 令和4年6月・角川全国大会

戦火から「最期の晚餐」守ったと

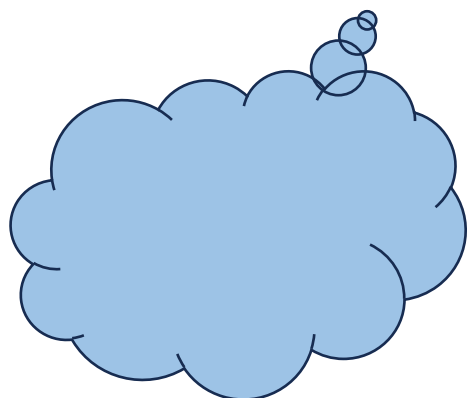
誇らしく語るミラノの友は

入選 令和4年6月・角川全国大会

地球より消えることなき核のごみ

「うすめて海に」は永遠の恥

佳作 春日いずみ 令和4年6月・NHK夏の大会



ビニールの白きカバーがはずされて

ワツと顔出すチシヤの葉の青

佳作 黒瀬珂瀾 令和4年6月・NHK夏の大会

サクラ見のゴザに敷かれし小半日

じつと絶えてる雑草たちは

入選 松村由利子 令和4年7月・NHK秋の大会

きんきんと音なく冴ゆる凍て空に

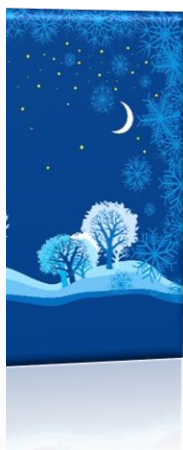
ナイフのごとき三日月ひかる

佳作 永田和宏 NHKくにたち大会

タクシーがどこの国でもタクシーと

呼ばれる訳を私は知らない

佳作 大辻隆弘 令和5年3月・NHK全国大会





闇夜にひかる

道あれば何処でも行ける自転車よ

替わっておくれ私は電車

入選 令和5年3月・角川全国大会

茄子きうり不揃いなのが我は好き

個性豊かな子供のようで

入選 令和5年3月・角川全国大会

空港の闇夜に光る滑走路ドドンと

背に聞くランディングの音

入選 令和5年3月・角川全国大会



風のない小春日和の砂浜に

小さな影ひきやドカリの這う

佳作 花山多佳子 令和5年6月・NHK春の大会

花よりもピールが先と栓を抜く

その手の甲に花びら一つ

佳作 江戸 雪令 和5年8月・NHK春の大会

銃規制それが出来ないアメリカは

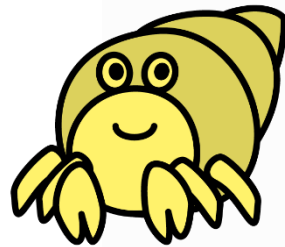
幌馬車走る西部劇のまま

佳作 黒木三千代 和5年8月・NHK春の大会

雲間より夕日の光線生駒嶺に

束ねて刺さる二月尽日

優良賞 令和5年8月・日本歌人クラブ全国大会



## 第二部

### ねこの昼寝(再)

#### 汗吹く若衆

戦争がそろりそろりとやってくる 誰もがみんな気づかぬうちに

入選 平成27年6月・NHK伊香保大会

ひたひたと寄せ来る波を受け止める テトラポッドの音小気味良い

入選 平成27年6月・NHK誌上全国大会

堀端の藪蚊の群れをくぐり抜け 項うなじに残りし一匹を叩く

入選 平成27年7月・NHK那智勝浦大会

自販機の大きな音に振り向けば 汗ふく若衆ニツカボツカで

佳作 平成27年7月・NHK那智勝浦大会

行商の荷を負い母は働きぬ 戦地に散りし父に代わりて

佳作 平成27年10月・NHK秋の誌上大会



## ミモザの香

近隣の幼稚園より湧き上がる 歓声今日も老を励ます

佳作 平成27年10月・NHK秋の誌上大会

たった今エレベーターを降りし 女性ミモザの香残して去りぬ

ひと かおり  
入選 平成27年10月・NHK全国誌上大会

自転車の母の背を抱く幼子の くりくり眼秋の風ふく

まなこ  
佳作 平成28年4月・NHK全国誌上大会

人類は争い好む生物か 戦争たえぬ世界のどこかで

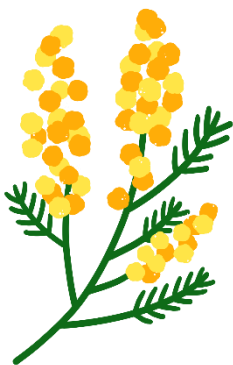
入選 平成28年4月・春の誌上大会

ゆりかもめ急降下して魚とる 銚もりをグサリと突き刺すように

入選 平成28年5月・NHK伊香保大会

手術待つ白内障のわが目には かすみで見ゆる寒椿の花

入選 平成28年5月・NHK伊香保大会



3月8日は「国際女性デー」で、「ミモザの日」とも呼ばれています。

花言葉は『感謝』『優雅』『友情』などで、「大切な人やお世話になった人に贈る花」だそうです。

## お節のぐまめ

この魚どこを泳いでいたんだらう お節せちの中のゴマメと目が合う

入選 平成28年5月・NHK伊香保大会

夕暮れに独りで遊ぶ幼子の ブランコの音幽かそけく聞こゆ

入選 平成28年7月・NHK田辺・熊野大会

近頃は珍しくなりし浴衣ゆかたの娘 カタコトカタンと足音涼し

佳作 平成28年9月・NHK本部大会

もがきつつ釣り上げられしワカサギが 氷を枕まくらに転まろびておりぬ

入選 平成28年10月・NHK和倉温泉大会



CC BY-SA

椿には、椿・寒椿・夏椿と同じツバキ科の植物なのですが3種類あり、寒椿の花言葉は、「申し分のない愛らしさ」、「謙譲」、「愛嬌」とのことです。



CC BY-SA

## 日溜り

天空に光かがやく日暈ひかさこそ 「日輪」の名にふさわしきかな

入選 平成28年10月・NHK和倉温泉大会

夜遅く灯あかりをつけて壁を塗る 左官の鏝こてがキラリと光る

入選 平成28年10月・NHK和倉温泉大会

寝つかれぬわが顔かすめ一匹の蚊が音高く過ぎてゆきたり

入選 平成28年11月・NHK全国大会

日溜りにネコがのんびり昼寝する 師走正月どこ吹く風と

入選 平成28年11月・NHK全国大会

神仏の宗派を越えしクリスマス 大和の国は平和なるかな

入選 平成29年3月・全国NHK誌上大会

電線に群れなしとまる雀たち 見つめる方向なぜかバラバラ

佳作 平成29年3月・全国NHK誌上大会

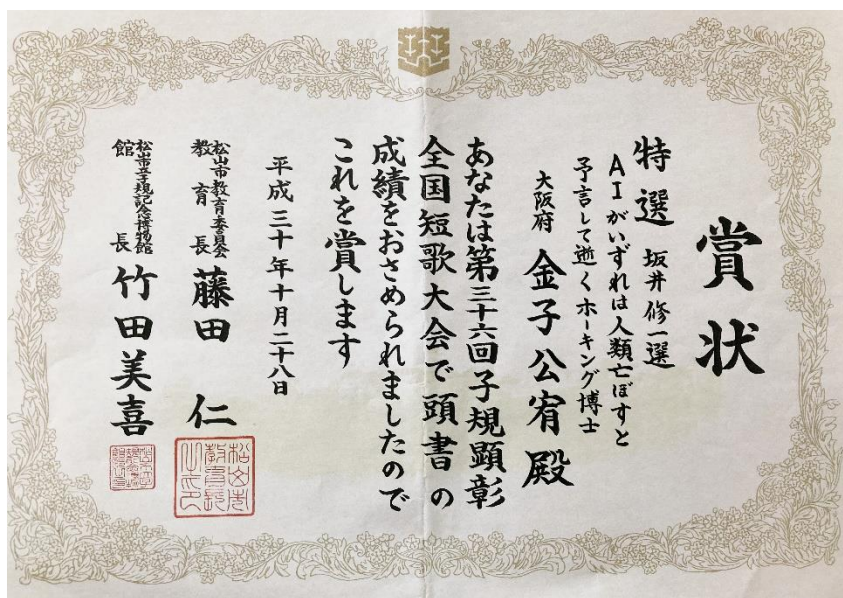


汚れや古い毛が取れて、自分のニオイも取り去ることで外敵から守るため、そして毛を清潔に保つために「毛づくろい」をするらしい。また、汗をほとんどかかない猫は、暑い日の体温調節のためでもあるようです。

猫は1日15時間前後を寝て過ごすので昼寝は当たり前のですね！

### 第三部

## 人工知能(AI)(再)



### 特選(愛知県知事賞)

選者

坂井修一 平成30年度・子規顕彰全国大会

AIがやがては人類亡ぼすと  
ほろ

予言して逝くホーキング博士



秀作

平成29年度・NHK全国大会

滑落のテトラポッドを這い上がる

三メートルをミミズのように

秀作

平成30年度・NHK全国大会

出征時「死んで還れ」と励まされ

戦地に散りし父の思いよ





さまざまな時を紡いで五十年 妻の小言も賑わいのうち

入選 平成29年9月・NHK市川大会

戦地より届きし父の手紙には 軍靴かじる日々記されており

入選 平成29年10月・NHK全国大会

戦死せる父の墓前にひと山の 銀シャリ捧げ平和を祈る

入選 平成29年10月・NHK全国大会

堂々と土俵入りする白鵬の 足腰の動き自信に満ちて

入選 平成30年3月・NHK全国大会

足許に落ちた薬くすりのカプセルよ 何処どこに消えたか煙のように

入選 平成30年3月・NHK全国大会

パーティーの幹事をすれば必ずや 足を出すわが金銭感覚

入選 平成30年3月・NHK全国大会



## 時計の針

枯れ落ちた松葉拾えばどれもこれも 二本が今も連れ添うており

入選 平成30年3月・NHK伊香保大会

五十肩痛みに耐えて夜明け待つ 時計の針の動きの遅きよ

入選 平成30年3月・NHK伊香保大会

垣根より道に顔出す百合の花 手を添え愛でれば恥ずかしげに揺れ

入選 平成30年7月・NHK郡上大会

香水の名前で知ったミモザの木 黄花きはなどっさりわれを見下ろす

入選 平成30年7月・NHK郡上大会

晴れた日の人無き浜の白砂に 枯れ木で描く郷里ふるさとの富士

入選 平成30年7月・NHK郡上大会



秀作

選者

高野公彦

平成30年度・大会(NHK市川市)

「オバカサン」言われてる子の愛らしさ

ほお めし  
頬に飯つぶ二つもつけて

賞状

秀作

NHK学園生涯学習フロンティア  
高野公彦選

市川市短歌大会


「オバカサン」言われてる子の愛らしさ  
頬に飯つぶ二つもつけて

金子 公宥 様

あなたの作品はNHK学園  
市川市短歌大会において頭書  
の成績を取られましたので  
これを賞します

平成三十年九月十九日

NHK学園理事長 浜田 泰人



お腹が空いた

戦国の敵味方なく祀りたる 金剛峰寺こんごうぶじをわれは訪うたり

入選 平成30年9月・NHK市川市大会

まなぶたを閉じれば浮かぶ原節子 大きな瞳にゆらめくひかり

入選 平成30年9月・NHK市川市大会

楽しみに無邪気に遊ぶ子供らよ 日本の借金しやっきん背負わせてゴメン

入選 平成30年9月・NHK市川市大会

妻の目を盗んで飲む酒うまい酒 夜中にごっそり楽しむひとり

入選 平成30年9月・NHK横浜大会

あと何年生きられるのか分からぬが 今なかはとにかくお腹が空いた

入選 平成30年9月・NHK全国大会



CC BY

## 番犬

誰にでも吠えかかりたる番犬が 暑さに負けたか顎出し眠る

入選 平成30年9月・NHK全国大会

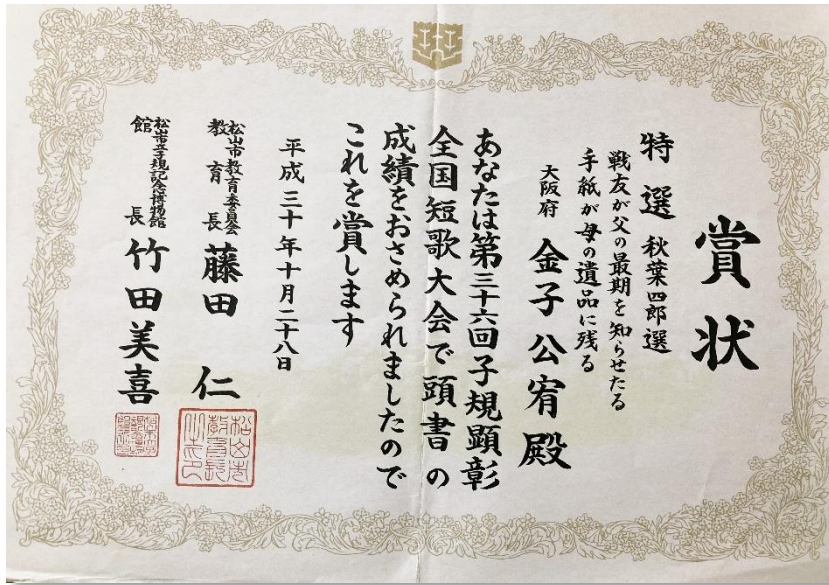
真夜中の間違い電話は聞き馴れた 友の声なれ受話器を戻す

入選 平成30年9月・NHK全国大会

われわれは地球とともに回ってる 時速にすれば千数百キロ

入選 平成30年10月・子規顕彰全国大会





特選

選者

秋葉四郎

平成30年度・子規顕彰全国大会

戦友が父の最期さいごを知らせたる

手紙が母の遺品に残る



## 第四部

### 盆栽(再)

選者

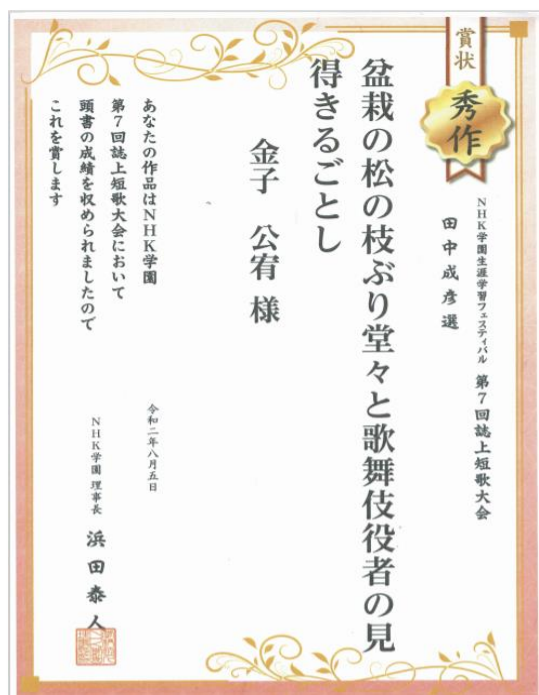
秀作

田中成彦

令和2年度・日本歌人クラブ全国大会

盆栽の松の枝ぶり堂々と

歌舞伎の役者の見得きるごとし



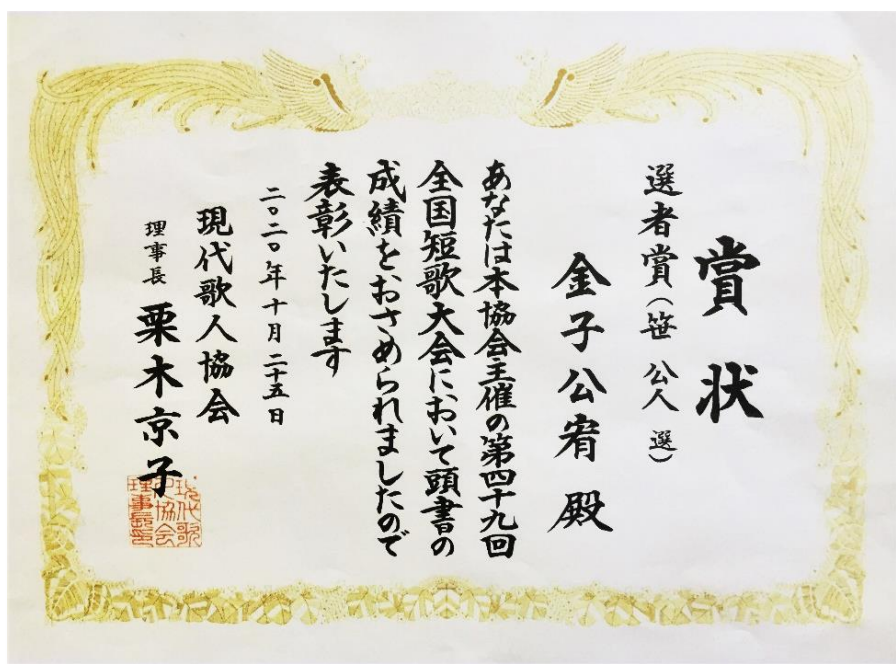
CC BY-SA

#### (註一) 短歌大会の選考(説明あり)

NHK 学園では、全作品の名前を伏せて印刷し、全選者がそれぞれ入賞入選作品を選び、大賞・特別賞などは重複を考慮して大会事務局が関与することがある。



空を測る



選者賞(『特選』相当) 令和2年度・現代歌人協会全国大会

晴れた日の空の広さを測ること

飛行機雲がまっすぐ伸びる

CC BY-NC-ND

## 選者(笹 公人)選評

読んでいて清々しくなる歌である。飛行機雲が空の広さを測るためのものだとしたら、かなりロマンチックだ。まるで「空の伊能忠敬」である。作者は、そんな空想をしてしまうくらい、雲一つない大空に魅了されたのだろう。



道端に藪蚊やぶかの群れがうず巻いて 行く手をはばむ夕べの散歩

入選 平成30年11月・NHK全国大会

水を買う時代が来るとは思わざり 西瓜冷やしし古里の井戸

入選 平成31年2月・NHK全国大会

高天原に始まりたるや天下り 神代の伝統いまに続けり

佳作 平成31年2月・子規顕彰全国大会

蒼天に点となりたるジェット機の 飛行機雲が瀬戸内わたる

入選 平成31年2月・子規顕彰全国大会

いつもなら空缶つちつぶす槌つちの音 今日けふは休みか冬の雨降る

入選 令和1年5月・NHK鎌倉市大会

今日もまた人口知能のパソコンに 多くを尋ねひとひ一日を終える

入選 令和1年5月・NHK鎌倉市大会



## 浄蓮の滝

ふる里の天城の山の名物は ワサビの香りと浄蓮の滝

入選 令和1年6月・NHK伊香保大会

まなぶたを閉じて一日を振り返る 何もなかった特別なことは

入選 令和1年6月・NHK伊香保大会

温暖化まるごと地球を揺さぶるは 可愛い名前のエルニーニョ

入選 令和1年6月・NHK伊香保大会

木枯らしに吹き上げられしポリ袋 どこへ行くのか寒くはないか

入選 令和1年6月・NHK伊香保大会

妻の癌「説明十日後」と医師は言う 待てば十日の日数の長し

佳作 令和1年7月・河野裕子賞全国大会

田の間を流れる堰せきの草むらに 誰が捨てたか子亀一匹

入選 令和1年8月・NHK武蔵野大会



## 火の鳥

小春日の野原を歩くわが指に 触れるススキのさらさらとして

入選 令和1年8月・NHK武蔵野大会

マンションの前の畑はたす鋤く老人の 野良着と地下足袋。ピッタリ似合う

入選 令和1年8月・NHK武蔵野大会

植物に心はありやと問う子供 答えに窮するラジオの先生

佳作 令和1年8月・NHK武蔵野大会

「火の鳥」の続きが小説になるという 手塚治虫は今も不死鳥

奨励賞 令和1年9月・日本歌人クラブ全国大会

ベルリンの壁が壊れて三十年 新たに築くメキシコの壁

佳作 令和2年8月・現代歌人協会全国大会

田植えする大勢の人に追われつつ 代かきをせし郷里の水田

入選 令和2年1月・NHK全国大会



CC BY

## 生駒の嶺

銀杏を拾って干して煎りたれば 遠きふる里の香りがしたり

入選 令和2年1月・NHK全国大会

人生の最大の謎は女性だと ホーキング博士が語ったそうなの

入選 令和2年1月・NHK全国大会

夏空をさして伸びゆくサルスベリ 幹がひかるよ白雨のあとに

入選 令和2年1月・NHK全国大会

留学のケンタッキー大学医学部の 夜半の掃除は黒人ばかり

入選 令和2年1月・NHK全国大会

旋回するわがジェット機の窓外に 銀河の東京傾きて見ゆ

佳作 令和2年1月・NHK全国大会

雨上がり今宵の月はくきやかに 生駒の嶺をきわ立たせており

入選 令和2年1月・NHK全国大会



CC BY-NC-ND

## 宇宙の謎

関空の闇夜の窓外見おろせば 宝石箱の神戸が傾ぐ<sup>かし</sup>

入選 令和2年3月・NHK全国誌上大会

道端のカラスノエンドウ鞘黒く 種をはじきて反り返りたり

入選 令和2年3月・NHK全国誌上大会

リュウグウの岩を持ち来るハヤブサの 宇宙の謎解き令和につづく

入選 令和2年3月・NHK全国誌上大会

ふるさとの道路はもっと広がった 地球がいつしか縮んだのかな

佳作 令和2年3月・NHK全国誌上大会

大空にささえずる声を残しつつ 急降下する落雲雀かな

入選 令和2年6月・NHK伊香保大会

新型のコロナウイルス広がって クルージング船は孤島となりぬ

入選 令和2年6月・NHK伊香保大会



道端や野原などで咲く、雑草でありながら「カラスノエンドウ」の名がある。  
また、人や野生動物の食糧源になり、他の雑草を生えにくくするという効果  
があるらしい。花言葉は「小さな恋人たち」、「未来の幸せ」、「喜びの訪れ」

## 透明のアクセル

願っても叶わぬことは多けれど 願うことから事は始まる

入選 令和2年6月・NHK伊香保大会

難聴のわれに便りの右耳が あちこち探す人の呼び声

入選 令和2年6月・NHK伊香保大会

「人類の肺」と言われるアマゾンの ジャングルありて我らは生きてる

入選 令和2年6月・NHK伊香保大会

時は過ぎ時代は令和に変われども 桜は咲きぬ変わらず咲きぬ

入選 令和2年8月・日本歌人クラブ全国大会

八十路こえそれでも吾は 透明のアクセル踏んで未来を生きる

入選(激励賞) 令和2年9月・日本歌人クラブ全国大会

コロナ禍でシャッターおろした商店街 令和二年のゴーストタウン

入選(激励賞) 令和2年9月・日本歌人クラブ全国大会





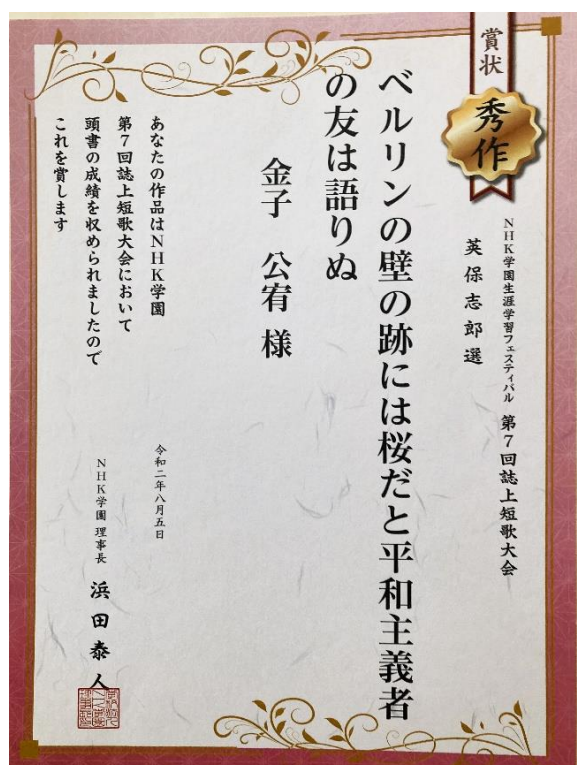
秀作

選者

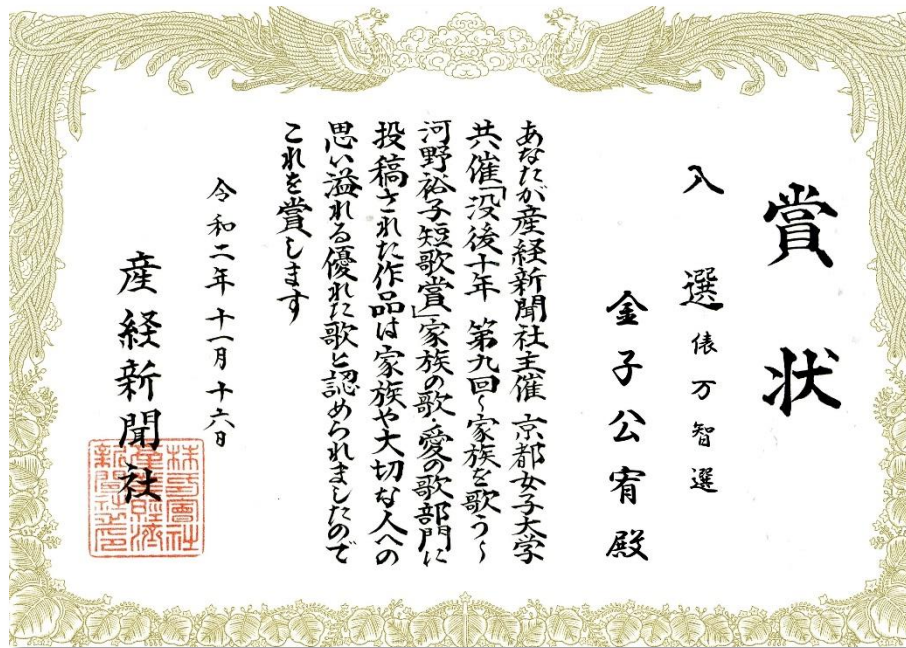
英保志郎 令和2年度・全国大会（NHK・日本歌人クラブ共催）

ベルリンの壁の跡には桜だと

平和主義者の友は語りぬ



種まく農夫



入選 (『佳作』相当)

令和2年度

俵 万智 選

きつとまた妻は言うだろう食卓で

新聞読むなど退院してくれば



CC BY-SA



「嘘だろう」「本当なんだ」と会話する 久しき友に友の人生

佳作 令和2年11月・NHK全国誌上大会

我が窓の眼下にひろがる田畑でんぱたに 種まく農夫のてつきあざやか

入選 令和2年11月・NHK全国誌上大会

短歌詠む日々の楽しさ教えられ 全てを忘れ時の過ぎゆく

入選 令和2年11月・NHK全国誌上大会

きつぱりと「前」の不快を忘れ去り これから先の「前」見て生きる

入選 令和2年11月・NHK全国誌上大会

入学し最初の二ヶ月職探し 学問よりも生きるが先と

入選 令和2年11月・NHK全国誌上大会

どこの国？日本とわかるヒントなり 電信柱と電線の景

入選 令和2年11月・NHK全国誌上大会



CC BY-SA-NC

## ヘッドライト

モンゴルの国技のような大相撲 がんばれ日本の力士たちよ

入選 令和2年11月・NHK全国誌上大会

押さば引け引かば回れと習いたる 柔道の教えそのままに生きる

入選 令和3年1月・NHK全国大会

黒焦げのバスの臭いが残りたる エルサレムにて迎える朝

あした

佳作 令和3年1月・NHK全国大会

夜釣りする岸壁に立つ釣り人のヘッドライトに光る太刀魚

入選 令和3年3月・NHK伊香保大会



CC BY-SA

秀作

令3年度・NHK伊香保大会

この頃は雨滴のサイズが大きいと

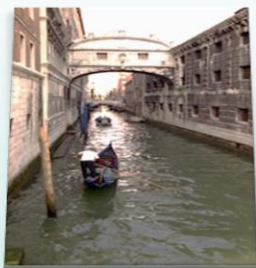
思えるのだが本当はどうか

秀作

令3年度・NHK伊香保大会

沈みゆくベネチアの名所サンマルコ

広場に浮かぶビール瓶光る



CC BY-SA

自動車の急ブレーキを聞くような春一番がほこり巻き上げ

入選 令和3年3月・角川全国短歌賞

濠端の苔むす土に顔を出す かよわきタンポポ老いを励ます

入選 令和3年3月・角川全国短歌賞

農業に転じた友の送り来る トマトとナスにはのかな土の香

入選 令和3年3月・角川全国短歌賞

火の鳥真夏日の土用の丑にウナギ 食ぶ万葉人もそうしたらしい

入選 令和3年3月・角川全国短歌賞



つづみぐさ  
昔は「鼓草」と呼ばれて、太鼓を叩く「タンタン、ポンポン」が名前の由来になったという説もあるようです。

花言葉は「愛の神託」、「真心の愛」、また綿毛になって飛んでいくことから「別離」という少し悲しい花言葉もあるようです。

## 第五部

### 自選短歌(再録を含む)

若き日

その昔牛馬を駆って登り来し

古里の山いまゴルフ場

学生の寮に出前のラーメン屋

「まだか」の電話で作り始めき

ダメモトの大学院に合格し

貧乏暮らしの新たな幕開く

一年中同じネクタイしめ続け

それを何とも思わぬ若き日



新宿の西口下がるドヤ街の

「つるかめ」なつかし今も営業

研究が病みつきとなるその訳は

新たな事実と出会う喜び

筋肉は使えど減らず増えてゆく

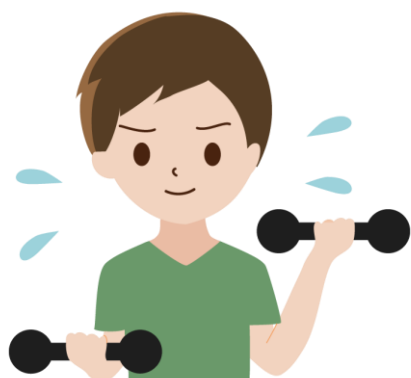
友はこれを「貯筋肉」と名づく

押さば引けひいて回れと習いたる

柔道の教えそのままに生きる

今日という一日を無事に過ひとひせたら

明るい日と書く明日があるさ



## 世界をかける

海と空かけ回りたる若き日は

今や昔の遠き想い出

シスコからケンタッキーへ三昼夜バスにて

寝泊まりひたすら東へ

アメリカで暮らしはじめしスラム街

インドネシアの友と仲良く

柔道の愛弟子ボブとラリーとが

ベトナム戦にて命を落とす

日本にも春が来たので帰らぬか

帰国うながす恩師の手紙



枯れ葉まうミラノの秋は寒々と

郷愁さそう夕暮れどきに

柵内で討論している人間を

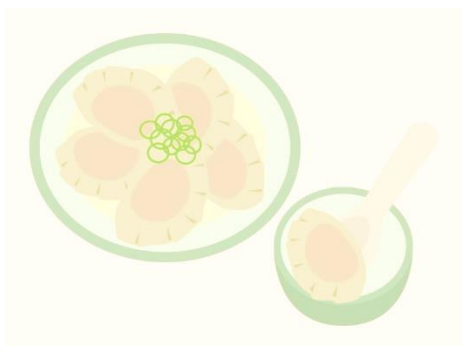
じつと見ているサファリのインパラ

西安の五十余种なる水餃子

円卓まわりて客をもてなす

極北のフィンランドに夏きたる

太陽求めるヌードの学生





## 風景・映像

日溜り<sup>ひだま</sup>で昼寝むさぼるネコ一匹

大きく欠伸す新春<sup>はる</sup>のはじめに

月の世に吠える野犬の声高し

内なる野生に目覚めおらんか

短歌詠<sup>よ</sup>む日々の楽しさ教えられ

悩み忘れて時の過ぎ行く

猛<sup>たけ</sup>くして空地に広がるネコジャラシ

月の光に白くかがやく

紀国<sup>きのくに</sup>の山々つらねる和泉嶺<sup>いずみね</sup>の

稜線くつきり冬空を斬る



岸壁に釣り上げられし太刀魚たちうおが

死んだふりする夏の夕暮れ

「待たせる」と「待ちくたびれる」はどちらもが

恋だと歌う松山千夏

たんたんとききし女優の樹木希林

自然に生きて自然にかえる

家政婦をコミカルにしてシリアスに

見事に演じた市原悦子

ボクサーが放つパンチの鋭さよ

狙うは相手の鼻のてっぺん



## 老いる

八十路<sup>やそじ</sup>まで生きてるなんて何とまあ

悪運つよき人生なんだ

久々に母の遺品をひらきみる

戦死し父の覚悟の手紙

底深いテトラポッドを滑落す

気が付けばまだ我は生きてる

今日もまたとんかつ食べて活入れて

ヨイシヨと向かう短歌教室

年金で暮らし始めて幾年月ほどほどの

財にてそこそこに生きる



年寄れば脚がもつれて頭打ち

八針縫えどなすき脳は無傷

たった今感銘深く聞きしこと

書き留めるまえに頭から消ゆ

世の中に理不尽なことは多けれど

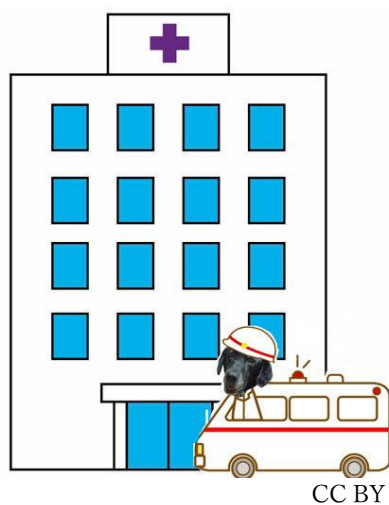
見ようによっては丸も三角

何事もそれを仕事とするならば

楽しくもあり楽しくもなし

八十路過ぎやそじ思えば何度か死んだはず

医学の進歩に救われて今

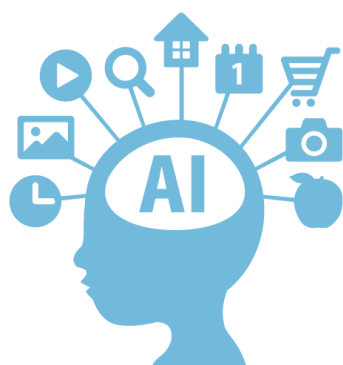


AIがやがて人智を上回り

我らを指揮する時が来るかも

今日中に済まなくなっても良いことは

明日に延ばそう明日あるならば



## おわりに

私の短歌との出会いは、職場の同僚である故・林信恵さんから「私の短歌にコメントして欲しい」と言われ、私は無謀にも「短歌もどき」で返信した。これが縁で林さんからNHK短歌入門講座を教えられ、受講したのがそもそもの始まりである。その後、岸和田市の公民館短歌教室（鈴木きぬ子師範）に入れて頂き今日に至っている。

短歌の入門書には「短歌は人に読んで貰うために作るもの」とあり、また歌人・小高賢氏が「短歌は詠む人のためだけでなく、読む人に分かるものであるべき」という趣旨の発言をしている。短歌が「人に詠んで貰うもの」とあれば、やはり出来不出来が気になる。そこで作った歌を短歌コンクールに投稿し、評価を大会審査に委ねてきた。この歌集はその成績報告でもある。

本歌集の企画・編集者である藤田英和氏はじめ、これまでお世話になった多くの方々から心からの謝意を表します。

令和五年十月吉日

金子公宥

金子公宥(かねこまさひろ)

昭和13年3月4日生、静岡県伊豆の国市(韮山)出身

大阪体育大学名誉教授、教育学博士(東京大学)

日本バイオメカニクス学会会長

国際体力研究学会(ICPFR)副会長 ほか

「発想スポーツ科学への招待」(杏林書院) ほか

〒597-0021 大阪府貝塚市小瀬 527-2-602

Tel:072-433-2311

E-mail: [mkaneko@rinku.zaq.ne.jp](mailto:mkaneko@rinku.zaq.ne.jp)



企画・編集 : 藤田英和(ふじたひでかず)

NPO 法人 みんなのスポーツ協会最高顧問

制作 : 特定非営利活動法人 みんなのスポーツ協会

ホームページ:<http://www.npo-minspo.ne>

(註)個人画像以外は作者不明のクリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CC BY など:画像右下記載)のもとに掲載を許諾されています。また、その他の画像は非営利目的などでの使用が許可されたものである。

